

(10) 読書・図書館教育研究会

会長 山脇 克仁 (中村南小)
副会長 谷 香織 (具同小)
事務局 酒井 薫 (中村中)

1. 研究主題

「読書活動の推進と学校図書館の活用」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
8月19日(水)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容 ○視察研修 「宇和島市学習交流センター『パフィオウわじま』の施設や環境整備の視察 ○講師 「パフィオ宇和島」職員(複数名)	宇和島市学習交流センター「パフィオウわじま」	7名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

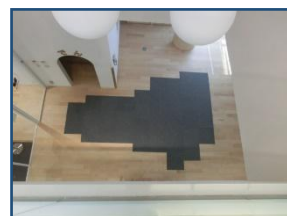
(1) 視察研修について

今回視察を行った「宇和島市学習交流センター『パフィオウわじま』」は図書館、子育て支援、生涯学習という3つの機能を併せ持っており、市民が広く活用できる場として宇和島市民の憩いの場となっている。1階は生涯学習センター、2階、3階が図書館、4階が子育て世代活動支援センターとして活用されていた。なかでも図書館は、2階が一般図書フロアとレファレンスコーナー、3階は児童図書フロアと寝ころびコーナーとなっており、天井までが吹き抜けで3階から2階が見下ろせるような設計となっているため、広々とした開放感があった。

2階の一般図書フロアには、一般図書と共に郷土資料コーナーにおよそ5,000冊の郷土資料が揃えられ、大変充実していた。レファレンスコーナーは、調べものが行いやすいよう、調べもの用の資料の配架とインターネットでの検索ができるようパソコンも複数台整備されていた。

また、3階の児童図書フロアは、子供が寝ころんで大型絵本などを読めるスペースや隠れ家のような小部屋が作られ、そこで定期的に紙芝居や人形劇なども開催され、親子で団らんの時を過ごせるスペースになっていた。4階の子育て世代活動支援センターに訪れる親子が児童図書をすぐに利用できる環境も整えられており、本が手に取りやすい環境が意識された構造になっていた。

その他、宇和島市は市内にある図書館で「図書館ネットワークシステム」が構築されており、市民の身近な図書館・図書室から約36万冊の蔵書の貸し出しや返却、取り寄せなどが行える体制が整えられていた。



4. 成果と課題

(1) 成果

- ・図書館が図書館のみの利用でなく、市民が気軽に立ち寄ることのできる場となっており、図書を借りる目的でなくても本を手取る機会が多くなるよう意図的な施設の使い方を学ぶことができた。
- ・郷土資料を豊富に揃えていることや調べ学習のための資料の配架などが学校図書館の配架にも参考になった。

(2) 課題

- ・読書活動の推進という面では、研修回数も少なかったため深めることができなかった。